

第15回千丁地域審議会会議録

日時 平成22年6月18日（金）14時～16時5分
場所 八代市千丁支所3階会議室
出席者 吉井一利、村松鈴子、岩田美江子、作田絹子、中寛、
永溝ユリ子、忝島小夜子、松永要、村田健一、
吉野勝子、欠席：川口重信
市川優二支所長、総務振興課：豊田孝二、上村和寛、沢田幸一郎、
市民福祉課長 片岡雪子、千丁農林水産事務所長 松島秀司、
千丁建設事務所長 金盛信義
地域振興課長 松本浩、村上修一、井戸康雄
障がい福祉課中田、稲本 こども家庭課上田、時枝
傍聴者、報道関係出席なし

議題

- (1) 八代市地域審議会正副会長会議報告について
- (2) 平成22年度主要事業について
- (3) 住民自治によるまちづくりについて
- (4) 第2次八代市地域福祉計画について
- (5) 次世代育成プランについて
- (6) その他

質問、意見等

@平成22年度主要事業について

- ・防災備蓄倉庫は、会地公園、日奈久以外は、どこにあるのか。
回答：がめさん公園、わいわいパークにある。各支所にも備蓄がある。
- ・農業公園の剪定予定に西牟田上は入っているか。
回答：西牟田上は予定にない。いぐさの里公園、上外牟田公園、八代新地公園が、千丁建設事務所管理である。
- ・昨年、本町商店街の空店舗内覧会があった。結果はどうだったか。
回答：担当課に確認し、後日回答する。
- ・ファミリーサポート事業の「ぼけっと」の所在地はどこか。
回答：泉振興センター2階にある。
- ・予算が削減されたい草の里まつりはどのように開催するのか。
回答：まつりの原点に立ち返って、歌手を呼ばず住民参加型のまつりとして開催する。

@住民自治によるまちづくりについて

- ・組織運営経費の内訳について

回答：3年間の準備期間で必要となる、パソコンや事務的な経費の助成である。

- ・事務局に配置するのは職員か、住民か。

回答：住民主体となるまでの期間は、職員が側面からサポートする必要があると考える。公民館主事に併任辞令を出し、まちづくりの支援体制をする。

- ・公民館主事では、人事異動があるため引き継ぎは大丈夫か。

回答：住民主体で行うのが住民自治であり、行政主体ではいけない。職員の持つまちづくりのノウハウを、住民に引き継ぐような形が重要になっていくと考えられる。

ご指摘のとおり、異動については、十分配慮した職員の配置を心がけたい。

@第2次八代市福祉計画について

- ・65歳以上の一人暮らし7,800人の男女別、施設入所の有無の内訳を知りたい。

回答：現在、民生委員の協力により聞き取り調査を行っている。

- ・若年層を含む、年齢別の一人世帯を知りたい。

回答：高齢者を担当しているため、65歳以上の調査結果しかない。今年行われる国勢調査で、統計結果が出ると思われる。

@次世代育成プランについて

- ・現在の保育園数について

回答：公立14園、私立44園で、合計58園。

- ・民間委託、廃止する保育園はあるか。

回答：昨年、計画予定だった保育園は、地域の反対で実現しなかった。

- ・一時預かりの施設数は増えたが、目標数が減っているのはなぜか。

回答：一時保育の場所は増やしたが、一時保育のニーズは通常保育で賄えると考えたため、目標数は減った。

- ・子どもの病気で休む男性職員が少ない。子育てはまだ女性中心と考えられるため、職員が率先して休暇を取得して欲しい。

@その他

- ・先日のテレビで、介護されるだけでなく、自分の事は自分ですという介護施設が紹介された。機能回復のために、このような方法も必要と思われる。